

多職種、患者・市民とともに考えた 緩和照射診療ガイドラインの有効活用について

2026年

6月19日金 12:30～13:20

第3会場(福岡国際会議場 2F 多目的ホール 203+204)
福岡県福岡市博多区石城町2-1



座長

九州国際重粒子線がん治療センター センター長

塩山 善之 先生

「がんによる症状の緩和のための放射線治療ガイドライン」
発刊に際して

演者

埼玉医科大学総合医療センター 放射線腫瘍科教授

高橋 健夫 先生

診療ガイドライン作成における患者・市民参画:
ガイドライン作成の経験から

演者

済生会熊本病院 総合腫瘍科 副部長

斉藤 哲雄 先生

がんによる症状緩和のための放射線治療ガイドラインへの期待
～患者・家族の生活と想いを支える代弁者としての看護実践～

演者

大阪市立総合医療センター
緩和ケアセンター がん放射線療法看護認定看護師

片山 沙織 先生

パネルディスカッション

学術大会ウェブサイト上で事前参加登録をされた方から優先的にご入場いただけます。
当日の整理券はセミナー開始5分後に無効となります。

共催

第31回日本緩和医療学会学術大会・
一般社団法人 がん医療の今を共有する会 (ACT)

ACTは、がんの放射線治療をもっと身近なものにする
ため、垣根を超えた連携を構築し、がん医療の今を共
有するための活動をしています。

「がん診療における『緩和的放射線
治療』の積極的な活用に向けて」の
提言書を公開しています。

ぜひご覧ください。

がん医療の今を共有する会 
<https://act-oncol.or.jp/policy/>

ACT会員

アキュレイ株式会社/ユーロメディテック株式会社/東洋メディック株式会社/株式会社バリアンメディカル システムズ/
ポストン・サイエンティフィックジャパン株式会社/ブレインラボ株式会社/エレクト株式会社/株式会社日立ハイテク/
レイサーチジャパン株式会社/株式会社千代田テクノル/シーメンスヘルスケア株式会社/キヤノンメディカルシステムズ株式会社